

日帰りで行く!!
いわきの農業体験ツアー

いわきの秋晴れの下、

大学生が農業と地元食材のおいしさを体感！

農山村地域活性化対策の取組として、「日帰りで行く!!いわきの農業体験ツアー」を開催。首都圏の大学生 35 名が、稲刈り体験や地元農家との交流で農業の魅力を感じました。

1 いわきの農業体験ツアーを開催！

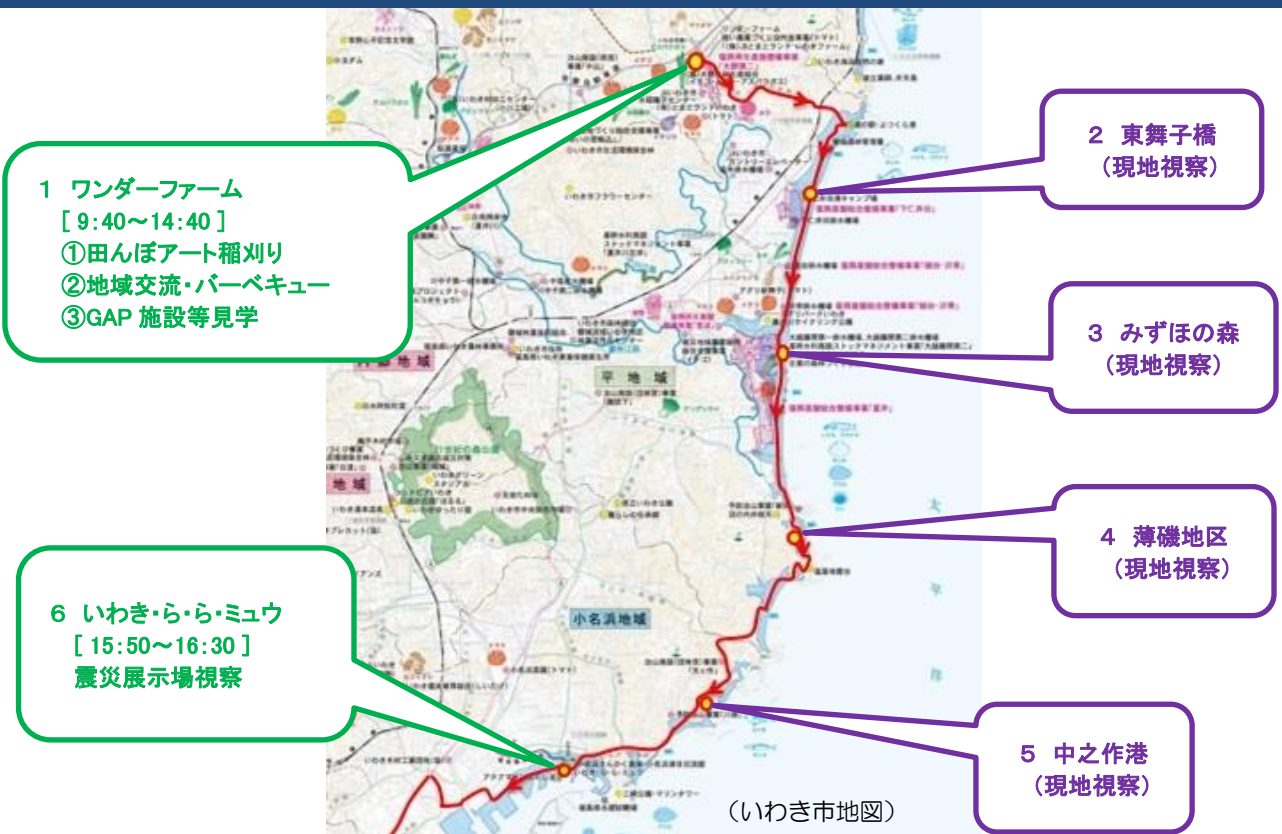
いわき農林事務所では、農山村地域活性化対策の一つとして、平成25年から昨年まで、首都圏の大学生にいわき市の復興状況等を「見て」もらう「モニターバスツアー」を実施してきました。

実施6年目となる今年度は、「見る」だけでなく「体験・交流」を重視し、10月13日（土）に「日帰りで行く!!いわきの農業体験ツアー」を実施しました。農業体験や地元の学生・農業関係者との交流を通じていわきの農業に関心を高めてもらうとともに、都市の若者の農山村に対する意識を調査し、地域にフィードバックすることを目的としています。

当日は、首都圏の12大学から35名の学生が参加し、また、市内大学からも6名が参加して、地域産業6次化の拠点「ワンダーファーム」(市内四倉町)を舞台に田んぼアート稲刈り体験や地元食材のバーベキューを通じた交流会、GAP生産施設の見学を行いました。さらに、海岸線道路を移動しながらの復興現場視察、震災展示をしている「いわき・ら・ら・ミュウ」(市内小名浜)視察を実施しました。

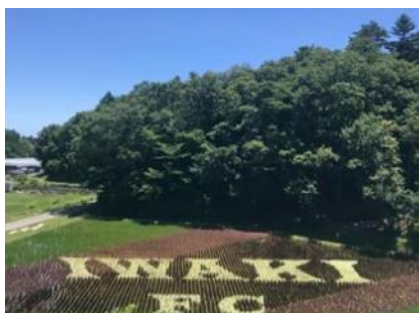
ツアーの内容と意識調査の概要は次ページ以降をご覧ください。

◆当日の視察先◆



2 各活動の様子

ワンダーファーム



①田んぼアート稲刈り
「福島田んぼアートプロジェクト」代表の市川英樹氏の指導のもと、「IWAKI FC」のロゴマークが描かれた田んぼで稲刈り体験を行いました。

市内学生も含め参加者同士で協力しながら、稲刈り体験を楽しみました。



萩シェフ特製
“オールいわき” サラダ



牛肉と真剣勝負の草野さん

②地域交流（バーベキュー）

市内の農家や料理人の方をゲストにお呼びして、県産農産物を使用したバーベキューを実施し、交流を深めました。

ゲストは、田んぼアートプロジェクトの市川氏、ワンダーファームの元木寛社長、市内で畜産業を営む草野純一氏、フランス料理店を営む萩春朋シェフです。



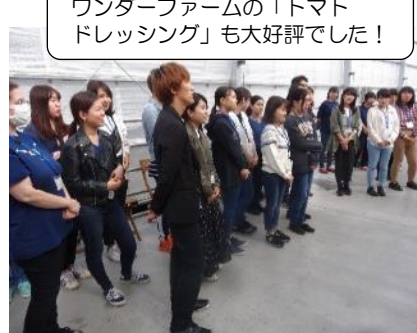
ワンダーファームの「トマト
ドレッシング」も大好評でした！



「トマト ラブ」の元木社長

③生産施設等見学

ワンダーファーム元木社長の説明のもと、トマトの生産施設を見学し、GAP や6次化の取組等について学びました。ハウスでは、トマトの収穫体験も行いました。



四倉～小名浜海岸



久之浜「東舞子橋」

東舞子橋の架け替え工事の視察
(説明：いわき建設事務所)



新舞子「みずほの森」

「企業の森林づくり」でみずほ銀行が植樹した防災緑地の視察
(説明：いわき農林事務所)



「薄磯防災緑地」

(説明：いわき建設事務所)



いわき・ら・ら・ミュウ
復興展示・施設内見学

3 アンケート集計結果

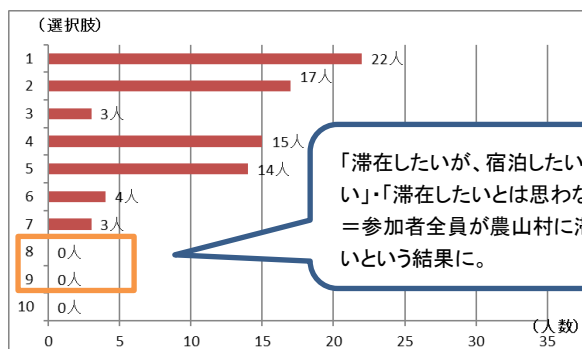
今回の参加大学生にアンケートに答えていただき、様々な感想を寄せていただきました。

【今回のツアーの感想(一部抽出)】

- ・福島・いわきに住んでいたわけではないのに復興というつながりで、いわきに来て、いわきが好きになって、いわきに住んだ人と実際に会えたことがすごく良かった。
- ・福島に来る度に、また行きたいと思わせられます。現実性があるかは分かりませんが福島に住みたいと思っただけがあります。もし、住めることになれば、雪も少なく日が高いいわきを選びたいと思います。
- ・泊まりで、もっとふくしまを知りたい！ ・地元食材の BBQ が最高だった。
- ・あっという間に時間が過ぎました！ 特に、バーベキューやサラダがおいしく、他の人とも交流できて良かったと思います。いわき・ら・ら・ミュウの展示も、福島の震災のリアルを見たいという思いがあったので、心に残って良かったと思います。
- ・シェフや(地元)学生、町の人が温かくて楽しかったです！！次年度もやって欲しい。
- ・稲刈りから始まり、施設の見学や被災地を見たこと等、多様なことに身を投げ経験をさせてもらった。普段、都会でビルに囲まれた中で生活している自分にとっては、すごく刺激的だった。

さらに、今後の事業へ活かすため、首都圏の大学生の農山村に対する意識についても調査しました。主な質問項目をご紹介します。

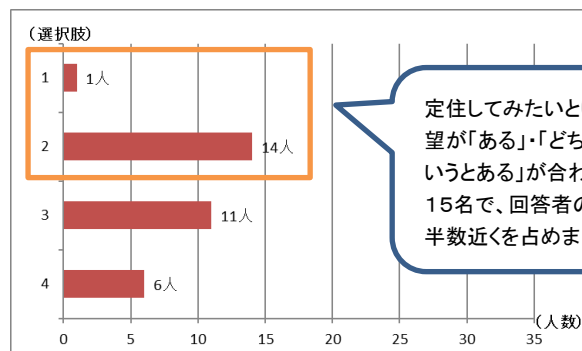
Q. 農村地域に一時滞在する場合、どのような施設に宿泊したいですか？



【選択肢】

1. 農家民宿
2. ペンション・一般の民宿
3. 公共の宿泊施設
4. ホテル・旅館
5. キャンプ場
6. 友人・知人の住居
7. 別荘
8. 滞在したいが、宿泊したいとは思わない
9. 滞在したいとは思わない
10. その他

Q. 農山村地域に定住してみたいという願望がありますか？



【選択肢】

1. ある
2. どちらかという
3. どちらかという
4. ない

市内では、貝泊コイコイ倶楽部をはじめ、いわき農林水産ニュースのリレーインタビューで紹介した大和田自然農園の大和田智恵子さん、増田笑さん（H30.1月号）やファーム白石の白石長利さん（H30.8月号）など、都市部住民との交流に積極的に取り組む方々が増えております。当所においても、未来を担う若者たちの意見を活かし、農林業・農山村の振興に努めてまいります。今回、参加いただいた皆様・関係者の方々のご協力に心から感謝いたします。（企画部）